



八中だより



第11号

令和7年10月1日

府中市立

府中第八中学校

『さまざまな文化に触れる秋』

校長 高汐 康浩

先日、偶然、卒業生に会った。卒業生たちと懐かしい話をする中で、何気なく「全校朝会の校長講話で印象に残っている話は？」と尋ねてみた。卒業生は皆「もちろん、アルゼンチンの話！」と答えた。そこで、十月の全校朝会の話アルゼンチンの話をしようと思った。アルゼンチンでの生活を始めて半年が経ち、暑い日が続くようになった。毎週日曜日は近所のカフェで朝食をとることにしていた私は、行きつけの喫茶店に行った。いつもはホットコーヒーと medialuna（メディアルナ）[半分の月という意味]つまりクロワッサンを注文するのだが、暑かったのでアイスコーヒーを頼むことにした。店員のパブロはいつものようにとてもフレンドリーに迎え入れてくれ、「いつも通りでいいかい？」と聞いてくれた。私は、「今日は暑いので、café frío（冷たいコーヒー、つまりアイスコーヒー）にしてくれ」と言った。そうしたら、店員のパブロは怪訝（けげん）そうな表情で、「それは何だ？」と聞いてきた。私こそ、喫茶店の店員がアイスコーヒーも分らないのか、という思いを込めて、「café con hielo（コーヒーに氷を入れたもの）」と返した。スペイン語でコーヒーに氷を入れたものは、café con hielo と表現すればいい。パブロは手のひらを上に向けて、口を「へ」の字にして、不思議そうな表情になってしまった。アルゼンチン人は、だいたい朝食に食べるものが決まっている。日本のようにバリエーションがない。だいたいは、熱い Café con leche（コーヒー牛乳）とクロワッサンだ。クロワッサンといっても日本やフランスのものとはいくぶん違う。アルゼンチンのクロワッサンは2種類ある。ひとつは、かなりしっとりタイプのクロワッサン、もうひとつは、パサパサのクロワッサンだ。私はしつと

アルゼンチンのクロワッサン



引き続き...
熱中症に
注意!

リタイプのクロワッサンが大好きだった。日本では買うことができないので残念でならない。しっとりタイプのクロワッサンは medialuna de manteca という。意味はバタークロワッサンだ。その名の通りバターの風味が抜群で噛むとバターがじゅわつと染み出てくる。それを、コーヒー牛乳にべちょべちょに浸しながら食べるのだ。パサパサのクロワッサンは、medialuna de grasa という。直訳すれば、脂肪のクロワッサン、バターを使わずにラードを使う。アルゼンチンの生活では、文化の違いに驚くことや戸惑うことが多くあった。その一つが、『コーヒーの飲み文化』だ。冷たいコーヒーを飲むという文化が全くない人たちにとっては、コーヒーに氷を入れるということは、まったくおかしなことなのだ。このようなことがあって、私はアイスコーヒーとホットコーヒーを飲み比べてみた。そうしたら、確かにアイスコーヒーにはホットコーヒーのように芳醇（ほうじゆん）さや深い味わいがないことに気付いた。もしかしたら、私たちが日本茶に砂糖を入れることが信じられないことと似ているかもしれない。日本国外のお店には、ペットボトルの緑茶には砂糖が入っていることが多い。そういえば、アルゼンチンにも日本と同様、コシヒカリやササニシキの日本米がスーパーマーケットで売られている。アルゼンチン人は野菜サラダとしてドレッシングをかけて食べていた。豆腐には蜂蜜をたっぷりかけて食べていた。我々にとっては違和感どころか、おかしい食べ物と思うのと同じかもしれない。コーヒーをこよなく愛し、コーヒーの飲み方にこだわりをもつ人々にとってはコーヒーを冷やして飲むことに對して変なことだと感じることも納得できる。

実は、日本国内でも地域によってさまざまな食文化がある。納豆に砂糖を入れる地域、お正月のお雑煮に大福のような甘いあんこをくるんだ餅を入れる地域、うさぎの干し肉を食べる地域、海の生物のヒトデを食べる地域など...食欲の秋といわれるが、この機会に、さまざまな食文化を調べてみると、多くの発見があるかもしれない。

《在籍生徒数》一学年250名、二学年217名、三学年245名

全校生徒数712名

《学校住所・電話番号》

府中市四谷一丁目二八二七

〒182-0035 電話 〇四二(三六四)一八八一

★PTA運営委員会
では、「子どもと真ん中」をキーワードにした家庭と学校等との連携について確認をしました。

活躍する八中生

【敬称略】

★保健委員会、生活委員会★
昨年度の3年生の自主的な活動を参考に、保健委員、生活委員会の皆さんが全フロアの廊下と階段に、「衝突事故防止」、「スムーズな通行」のための廊下通行区分帯の白線を引きました。



★避難訓練★
九月避難訓練は、大地震を想定した事前の予告のない避難行動訓練を行いました。体育館で活動していた3年生の生徒たちは「ものが落ちてこない場所に集まる」という声をかけあいながら避難行動を起こしました。日頃の安全に関する学習が十分に活かされていました。

※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校だよりで紹介しますので、受賞等があった場合は学校担任にご連絡ください。

新しい標準服 制定の取組

新しい標準服の制定に向けて、生徒会役員の皆さんがスキーム通りに作業を進めています。九月十九日には、生徒会役員の皆さんが作った新しい標準服案（以下生徒会作成イラストの一部を参照）を標準服の業者にプレゼンテーションを行いました。業者の皆さんからは、「プロが作成する企画書レベルであり、八中の生徒会役員の皆さんには、ぜひ、当社に就職してほしい」という感想をいただきました。素晴らしい！また、このように生徒の皆さんが主体的に行う取組は多くの学校に関わっている業者の皆さんにとって初めての経験であり、府中八中の生徒会の皆さんの企画力、行動力の高さに驚かされたという感想をいただきました。プレゼンテーション会議にはスクール・コミュニティ協議会委員の皆さんにもご参加いただきました。



授業のようす

九月十二日の3年生の数学（石崎教諭）の授業では、生徒たちは二次方程式の問題に取り組みました。難度の高い3問目の問題で、生徒たちは、自然に『対話』の雰囲気になって教えあいをしました。教えあいの中で、どのように説明すればわかりやすいかなどそれぞれが『表現』の工夫をしました。また、自分では気付きにくいことのできなかった新たな『発見』がありました。最終的には問題の解き方を自分で『決定』しました。

学校事故対応コーナー No.8

『眼の外傷の対応』

連載で、学校での事故の対応についてお知らせしています。学校外での事故対応にも役立ちますので、ぜひ、内容をご確認ください。

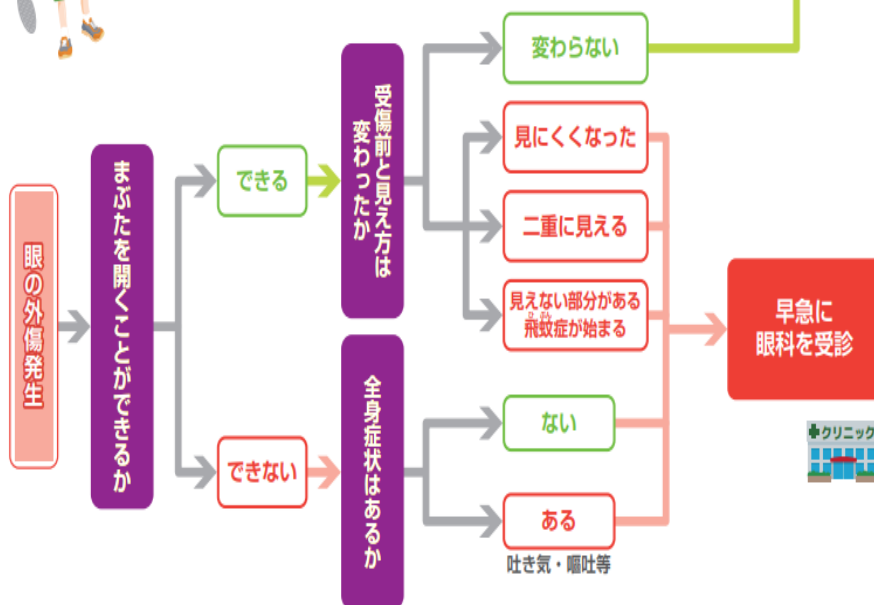


●注意する症状は

- ①まぶたを開くことができるか。
- ②見え方は変わったか。
- ③全身症状はあるか。

- 痛みの強さで傷害の程度は判断できず、症状は受傷後すぐに現れるとは限らない。
- 現場の応急処置が大切

経過観察



十月の生活目標

落ちて生活し授業を大切にしよう
学校をきれいにしよう

学びと
思いやり

- 十月の主な予定●○
- 一日（水）第五十二回合唱コンクール
- 四日、五日（土、日）四谷文化センター祭り
- 十日（金）教育実習開始
- 十一日（土）水害時避難訓練（二年）
- 十六日（木）交通安全教室
- 十七日（金）第二回進路説明会
- 十八日（土）連合音楽会
- 二十七日（月）三者面談（三年）
- 三十日（木）職場体験事前訪問